

公法 出題の意図

問題 1

政治活動のために自由に結成された結社である政党の憲法の統治機構における地位、役割の理解を基礎に、政治的結社としてその活動には国家権力からの自由が保障されるべきだという要請があり、また政党の党員に対する処分の当否が原則として政党の自律的な解決に委ねられるべきであるとの最高裁判例の先例がある中で、比例代表選挙における名簿登載者の政党からの除名の有効性について、裁判所がどこまで判断権を及ぼしうるかを問う出題である。

問題 2

前段は、行訴法の定める訴訟類型に関する基本的理解を問う出題である。後段は、いわゆる違法性の承継に関する問題である。違法性の承継という問題の所在を理解した上で、事業認定および収用裁決が、それぞれどのような性質の行為であるかをふまえ、収用裁決の取消訴訟において事業認定の違法を主張することが許されるかどうかを検討することが求められる。

私法 出題の意図

問題 1

財産分与の性質及びその内容、詐害行為取消権の対象財産、取消の相手方等に関する問題である。その論述により、民法上の重要な問題に関する基本的知識の修得度および論理的思考能力が試される。

問題 2

共有に属する株式の議決権行使に関する問題である。その論述により、会社法上の重要な問題に関する基本的知識の修得度および論理的思考能力が試されることになる。

刑法 出題の意図

過失行為に対する正当防衛の成否を、問うものである。